



# 子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動  
参加園月例会報  
(2018年3月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081  
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「JP子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



東京では桜が満開となり、本格的な春を迎えました。  
事務局の庭で育てている二年目の東北の“どんぐり”の苗木も、冬を乗り越え、間もなく若葉が芽吹きます。  
今年もJP子どもの森づくり運動の活動が始まります。  
子どもたちの「生きる力」と「共に生きる力」を育む活動です。  
今年には10周年の記念の年。相応しい活動となります様、皆様の積極的な活動へのご参加をお願い申し上げます。

## (目次)

1. JP子どもの森づくり運動2018 活動テーマ
2. JP子どもの森づくり運動2018 活動計画 (案)
3. 事務局からのお知らせ
  - 新・どんぐり博士の育苗講座(2018年3月号)

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「JP子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力
 

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



## 1. JP子どもの森づくり運動2018 活動テーマ

今年は活動10周年の記念の年となります。事務局では、記念の年に相応しい活動となる様、2月に開催されました全国集会での皆様からのご意見を踏まえ、下記の内容で2018年度の活動テーマを掲げました。皆さんと共に推進しております活動です。ご共有いただき、ご意見等賜ります様お願い申し上げます。

**● JP子どもの森づくり運動の活動10年間に共にふり返り、活動成果をとりまとめ、今後の活動展開に役立てます。**

- 1) JP子どもの森づくり運動活動10周年を迎えるにあたり、10年間の活動をふり返り、検証して、活動成果を「10周年記念冊子」(仮)としてとりまとめ、参加園、及び保育関係者に提供します。
- 2) 記念冊子は、事務局が単にこれまでの事例を取りまとめたものではなく、参加園の保育に何がしか役立つものとしたと思っています。そのために、冊子づくりのためのふり返りや検証を、皆さんとの協働作業で行い、内容の多くを皆さんからの活動レポートを中心に構成できればと思っています。
- 3) さらに事務局では、昨年より「10周年記念企画」として活動レポートのツールを三つご提案しています。
  - ①活動を“みえる化”して共有する「保育ドキュメンテーション」
  - ②活動の成果を実感する「どんぐり同窓会」
  - ③子どもたちに生物多様性を体感してもらう「ぼくの木、わたしの木」

これまでの活動をふり返るツールとしてご活用下さい。

\*詳細は、ホームページ「活動10周年企画」をご参照下さい。

**● 10年間の活動事例を基盤に、保育の現場で本当に役立つオリジナルの自然体験・環境学習プログラム集を作成し、参加園にお届けします。**

- 1) プログラムは、「飯田女子短期大学」幼児教育学科(ご担当:田中住幸講師)との協働作業で、JP子どもの森づくり運動10年間の活動で蓄積された、膨大な活動事例を基盤に構築します。
- 2) プログラムは、「拾う」「育てる」「植える」という子どもの森づくり活動を基本形として、それぞれの活動の付加価値を高めることを目指します。
- 3) プログラム作成の過程で、全国の参加園から約10園程度シミュレーション活動にご参加いただき、保育の現場で役立つ実践的なプログラムにブラッシュアップします。

**● 参加園全国ネットワークの活性化を目的に、恒例の活動行事と共に、10周年記念ならではの記念行事や研修会を積極的に開催し、参加園相互の情報交換と交流の場を提供します。(詳細別紙)**

- 1) 「東北復興グリーンウェイブ」での活動等、恒例の活動行事を今年も積極的に実施します。
- 2) 「富良野自然塾」環境教育体験ツアー(10月)や、「エコプロ2018」の会場において開催予定の参加園活動発表展等、記念行事を開催します。
- 3) ブロック別防災・環境学習研修会を全国的に開催します。



## 1. JP子どもの森づくり運動2018 活動計画【案】

10周年ならではの記念行事やブロック別の研修会開催情報をご案内申し上げます。

情報交換や交流の場としてご活用願います。現時点での情報ですので、今後変更があり得ますのでご了承下さい。

### 1) 行事・研修会開催計画（全国）

開催時期（予定）	催事・活動名	主な内容 / 会場（予定）
平成30年4月	地域での活動 東北復興グリーンウェイブ	苗木をお披露目する活動 / 全国
5/12（土）	「緑に親しむフェスティバル」	ステージ企画 / 日比谷公園
5/20（日）	東北復興グリーンウェイブ	東北の“どんぐり”の苗木植え替え活動 / 岩手県山田町
5/22（火）	”	東北の“どんぐり”の苗木植樹活動 / 岩手県山田町
6/23（土）	”	「霊山三育こども園」園庭への植樹活動 / 福島県伊達市
8/25（土）、26（日）	ナツオワキャンプ2018	ファミリーキャンプ / 福井県
10/9（火）、10（水）	「富良野自然塾」 環境プログラム体験ツアー	【10周年記念行事】「富良野自然塾」環境プログラム体験、及び倉本聡塾長の環境講話会、他 / 北海道富良野市
12/6（木）～8（土）	「エコプロ2018」 参加園活動報告展示会	【10周年記念行事】 参加園の活動報告展示会 / 東京都
平成31年2月	全国集会&研修会2019 （滋賀大会）	全国の参加園が集い、今後の活動についての協議と情報交換を行う。自然・環境体験、及び防災研修会も開催。 / 滋賀県

### 2) 研修会開催計画（ブロック別）

開催時期（予定）	催事・活動名	主な内容 / 会場（予定）
10月	北海道・東北ブロック 環境学習研修会	「富良野自然塾」環境教育体験 / 富良野自然塾
調整中	関東ブロック防災研修会	東京都 (幹事園：東京ゆりかご幼稚園)
	中部ブロック防災研修会	滋賀県 (幹事園：崇徳保育園)
	九州ブロック防災研修会	熊本県 (幹事園：菊地さくら保育園)

### 3. 事務局からのお知らせ

#### 1) 子森ネットが「グリーンウェイブ」オフィシャルパートナーに任命されました。

J P子どもの森づくり運動の運営事務局「NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）」が、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）より、グリーンウェイブの活性化に貢献するオフィシャルパートナーに任命されました。2018年3月14日（水）に開催された「UNDB-J地域フォーラムin東京」会場にて任命式が開催されました。当日は、UNDB-Jの涌井委員長代理から、子森ネット清水代表理事とご協賛企業の日本郵政 木下執行役に任命書が手渡されました。



グリーンウェイブのオフィシャルパートナーは、生物多様性の普及・活性化について優れた活動を実践している企業、団体からUNDB-Jによって選ばれ任命されます。

活動参加園の皆様と共に推進しておりますJ P子どもの森づくり運動に対する評価でもあります。共有していただければ幸いです。

#### 2) 「東北復興グリーンウェイブ」東北の“どんぐり”の苗木を送り返す活動が始まります。

今年も、育ててきた東北の“どんぐり”の苗木を送り返す季節となりました。

新年度の行事でお忙しいと思いますが、「苗木を見送る会」の日程等少しづつ準備を始めていただければと思います。

- ①今回送り返す“どんぐり”の苗木は、2016年の秋に東北から届いた“どんぐり”の種から育てたものです。
  - ②発送の時期は、5/7～5/17の間に各園から発送してください。（期間外の苗木の送付は絶対にご遠慮ください。）
  - ③例年通り苗木を送るための「どんぐりの絆BOX」は、4月下旬より各園にお送りします。
- 別紙アンケートにて、送付する苗木の本数等をお知らせください。

#### ●新・どんぐり博士の育苗講座(2018年3月号)～春です！どんどん水やりしてください～

今冬は記録的に気温の低い1月2月でした。ところが3月は、数回の寒の戻りはありましたが、西から急激に気温が上がり、超特急で桜前線が北上しています。他の植物たちも、大急ぎで芽吹き準備を進めています。

子森ネット「どんぐり博士」：河内和男（森林インストラクター）



まず今冬の寒さに関するエピソードから。私の自宅近辺では、カシなどの常緑広葉樹で、葉が茶色に変色したものを多数見かけます。木全体ではなく、冬の季節風が当たる西側の面だけです。これは、気温が平年よりかなり低い日が多く、さらに強い季節風となって吹き付けたため、葉を枯らしたものだと思われます。私の住む地域では、今まではあまり見かけた事のない光景です。

ところが、3月後半になってからの日ごとの気温の上昇には驚かされます。春が猛スピードで突進してきて、勢い余って初夏（ゴールデンウィークのころ）まで行ってしまった感じです。これはたとえば、寒い冬から、高温の春への極端な変化には、地球温暖化の影響が多にあるものと思われます。この冬の寒波の襲来は、極偏西風の極端な蛇行が原因と言われています。思いっきり単純化して解説すると、温度の高い液体ほど対流の渦が激しくなる原理です。

そこで育苗の話に戻ります。しっかりした冬と暖かい春のおかげで、植物たちは何の迷いもなく春の訪れを感知し、さらに最近の高温によりものすごい勢いで活動をはじめています。桜の開花が良い例です。苗や植物たちを日当たりが良く風通しの良い特等席に移動して水をどンドン与えてください。特に若い苗や、昨年蒔いたどんぐりには、晴れて気温が20℃を超える状況なら毎日水やりをしてください。